

2020年度（第4期）事業報告書

(2020.11.10理事会承認)

2020/11/10

一般財団法人 エコロジカル・デモクラシー財団

ECOLOGICAL
DEMOCRACY
FOUNDATION



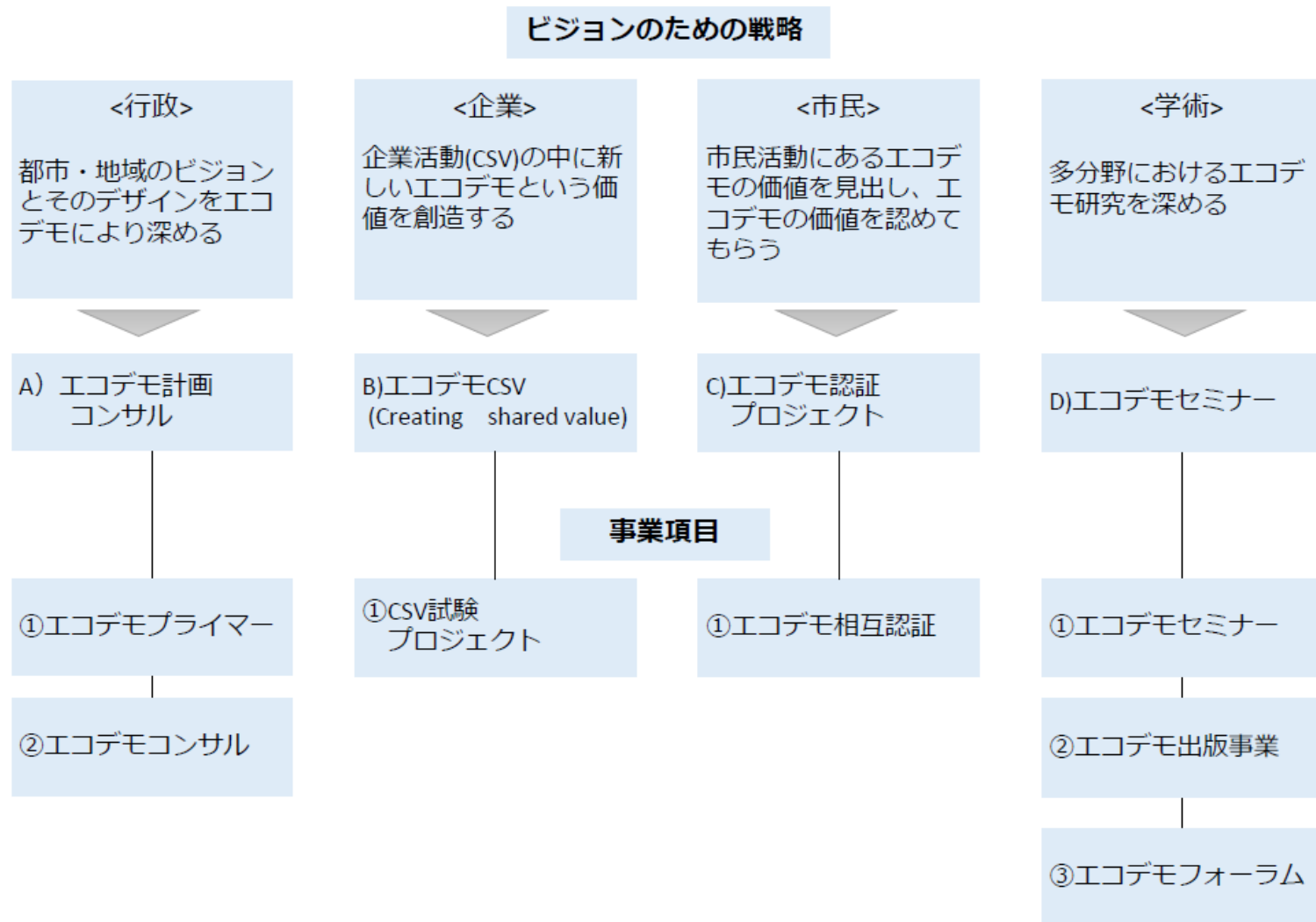
目次

- (1) 2020年度の事業枠組み p.3
- (2) 実施体制 p.5
- (3) 2020年度事業内容と予算計画 p.6
- (4) 2020年度事業別の収支計画と実績 p.8
- (5) 各活動の振返り p.9

(1) 2020年度の事業枠組み

財団の全体像およびゴールへの事業位置付けの整理

▶4つの対象（行政、企業、市民、学術）に対する事業



(1) 2020年度の事業枠組み

財団の全体像およびゴールへの事業位置付けの整理

▶スローガンの追加

全体像・ゴールイメージ

エコデモ財団のミッション

一人ひとりが、人間は自然の一部であることと人間だけが培ってきた信念（自由、平等、平和）を誇りに思い、自然、生態系（エコロジー）を労り畏れながら、人々の協同（デモクラシー）を尊重する世界を目指す。

エコデモ財団のビジョン

2020年までに、社会（企業、行政、市民活動、学術それぞれの領域）におけるエコロジカル・デモクラシーのグッドプラクティスを創る。

スローガン： まちが人々の心に触れるようにする

ビジョンのための戦略

<行政>

都市・地域のビジョンとそのデザインをエコデモにより深める

<企業>

企業活動(csv)の中に新しいエコデモという価値を創造する

<市民>

市民活動にあるエコデモの価値を見出し、エコデモの価値を認めてもらう

<学術>

多分野におけるエコデモ研究を深める

(2) 実施体制

実施体制

●エコデモ財団理事、 ◆事務局・アドバイザー (敬称略)

全体統括： ●土肥真人

中・長期展開ビジョン： ●土肥真人 ●伊東拓也 ●土屋陽子 ●清野隆 ◆杉田早苗

<行政> A) エコデモ計画コンサル	<企業> B) エコデモCSV (Creating shared value)	<市民> C) エコデモ認証プロジェクト	<学術> D) エコデモセミナー
●土肥真人 ◆杉田早苗 ◆中西正彦 ◆坂村 圭	●土肥真人 ●伊東拓也 ◆増田知久	◆吉田祐記	●清野 隆 ●土肥真人

エコデモシートによる評価： ◆山本真紗子

助成金申請担当： ◆谷内田絢子

サポーター： ・エコデモ財団発起人216名 (2019年8月26日現在)

(3) 2020年度事業内容と予算計画

● 2020年度4事業の成果目標と実施内容

事業枠組	事業項目	今年度の成果目標	実施内容	昨年度までの実績
A)エコデモ計画 コンサル 【行政】	A① エコデモ プライマー	・大岡山でのエコデモの実践 ・後期より上記の実践を踏まえた プライマーの作成	・大岡山のまちのビジョンづくり ・エコデモプライマーの作成およびこれを テーマとした助成金の申請	・
	A② エコデモ コンサル	・大岡山まちづくり協議会のコン サル業務(まちのビジョンづくり)	・大岡山・千東地域のまちづくり憲章作成に 向けた調査、成果の取りまとめ。 ・上記をテーマとした助成金の申請	・大岡山まちづくり協議 会事業委託
B)エコデモ CSV 【企業】	B① CSV試験プロ ジェクト	・企業とのCSV試験プロジェクト の検討と実施	・エコデモ財団応援人等の協力を得て、CSV試 験プロジェクトの検討・実施	・
C)エコデモ 認証 【市民】	C① エコデモ 認証プロ ジェクト	・10グループとの相互認証	・市民活動グループ、小中学校（行政、企業 等）を対象として相互認証 ・水辺の楽校グループ、まちづくり活動グ ループ、大岡山の小中学校を主な対象とする	(認証1件とりつけ) ・東急財団 研究助成 (2019.04-2021.03の2年間)
D)エコデモ セミナー 【学術】	D① エコデモ セミナー	・エコデモセミナーの継続 (5期13名、6期10-15名で実施)	・エコデモセミナー5期【2019.06-11】 ・エコデモセミナー6期【2020.03-08(予定)】	・第4期：10/12名修了 ・第5期：13名で実施中
	D② エコデモ 出版事業	・エコデモ関連書籍の出版	・日本版エコデモ（新書）の出版を検討	・JUDI通信10号（12月） ・都市計画336号（1月） ・ラトスケープ研究（4月）
	D③ エコデモ フォーラム	・エコデモフォーラムの実施	①地方展開（前橋、川越、弘前、熊本など） ②大学・企業展開 ③社工会等での展開 →①-③それぞれの展開を検討	・エコデモ財団3周年イ ベント（7月） ・仙台講演会（3月）な ど

(3) 2020年度事業内容と予算計画

2020年度 予算		(単位:千円)											
		事業名	A:エコデモ計画コンサル			B:エコデモ CSV①	C:エコデモ 認証①	D:エコデモセミナー			管理費	総計	
			①プライマー 作成	②コンサル 業務	合計			①セミナー	②出版事業	③学术交流 (フォーラム)			合計
損益	収益	助成金	1,500	1,800	3,300	0	2,300	0	600	0	600	-	6,200
		事業収益	0	450	450	2,500	0	1,000	0	600	1,600	-	4,550
		寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
		計	1,500	2,250	3,750	2,500	2,300	1,000	600	600	2,200	0	10,750
支出	事業費計	1,140	1,650	2,790	950	1,340	80	600	500	1,180	150	6,410	
	委託費	360	600	960	750	960	0	0	0	0	460	3,130	
	計	1,500	2,250	3,750	1,700	2,300	80	600	500	1,180	610	9,540	
収益-支出		0	0	0	800	0	920	0	100	1,020	-610	1,210	

<助成金の申請>

A①プライマー作成 1,500千円

- ・三井物産研究助成
→上限なし・自己資金率20%以上・3年以内

A②:エコデモ計画コンサル 1,800千円

- ・TOTO水環境基金
→上限80万円/年・最大3年(総額240万円を上限)
- ・トヨタ国内活動助成
→しらべる助成:上限100万円/件・1年間

C①:エコデモ認証 2,300千円

- ・とうきゅう財団(2年目)1,300千円
→2年目の継続
- ・地球環境基金
→プラットフォーム助成 200~800万/3年

D②:出版事業 600千円

- ・住総研出版助成
→上限600千円。採択年7月~翌9月までの15ヶ月

<事業委託について>

事業委託費:3,920千円

A) エコデモ計画コンサル+c) エコデモ認証:1,920千円
(ベース1,560千円+助成金採択時ベースアップ360千円)

B) エコデモCSV:2,000千円
(川越500千円、東京1,500千円)

※参考資料①

(4) 2020年度予算と実績

2020年度 予算		事業名	A:エコデモ計画コンサル			B: エコデモ CSV①	C: エコデモ 認証①	D: エコデモセミナー			管理費	総計	
			①コンサル 業務	②プライマー 作成	合計			①セミナー	②出版事業	③学術交流 (フォーラム)			合計
損益	収益	助成金	1,800	1,500	3,300	0	2,300	0	600	0	600	-	6,200
		事業収益	450	0	450	2,500	0	1,000	0	600	1,600	-	4,550
		寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
		計	2,250	1,500	3,750	2,500	2,300	1,000	600	600	2,200	0	10,750
	支出	事業費計	1,650	1,140	2,790	950	1,340	80	600	500	1,180	150	6,410
		委託費	600	360	960	750	960	0	0	0	0	460	3,130
		計	2,250	1,500	3,750	1,700	2,300	80	600	500	1,180	610	9,540
収益-支出		0	0	0	800	0	920	0	100	1,020	-610	1,210	

2020年度 実績		事業名	A:エコデモ計画コンサル			B: エコデモ CSV①	C: エコデモ 認証①	D: エコデモセミナー			管理費	総計	
			①コンサル 業務	②プライマー 作成	合計			①セミナー	②出版事業	③学術交流 (フォーラム)			合計
損益	収益	助成金	0	0	0	0	654	0	0	0	0	-	654
		事業収益	478	0	478	546	0	0	59	570	629	-	1,653
		寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
		計	478	0	478	546	654	0	59	570	629	0	2,307
	支出	事業費計	148	0	148	48	583	29	33	132	194	182	1,154
		委託費	400	0	400	0	480	0	0	0	0	326	1,206
		計	548	0	548	48	1,063	29	33	132	194	508	2,360
収益-支出		-69	0	-69	498	-409	-29	26	439	435	-508	-54	

備考

- A) エコデモコンサル：前年度の収入仕訳の誤り（当年度上期分を前年度で決算）により、69千円のマイナス。※本来であれば、+225千円で収支はプラス
- B) エコデモCSV：収益は8-9月分を計上（10月まで実施）。事業費は、アルバイト代（8-9月分）40千円、ミルクサンプルなど
- C) エコデモ認証：前年度の収入仕訳の誤り（当年度上期分を前年度で決算）により、409千円のマイナス。※本来であれば、+435千円で収支はほぼ±0
事業費は、アルバイト代370千円、委託吉田（9-3月）480千円、ほか消耗品など。
- D) エコデモセミナー①：5期セミナー経費のみ
エコデモセミナー②：収入は、本販売36千円、原稿料22千円。経費は本原価。
エコデモセミナー③：収入は、講演料228千円（アクティブ、椿峰、玉田、緑化）、連続シンポ341千円。
管理費：委託・吉田300千円、税理士100千円、法人税70千円ほか

(5) 2020年度の事業の振り返り コンサル事業

ビジョンのための戦略

コミュニティ・都市・地域のスケールを行き来できる、まちのビジョンをつくる

今年度の実施状況

・ A②コンサル業務で大岡山でのアンケート調査を実施した

A①エコデモプライマー

2020年度の成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山でのエコデモの実践 ・後期より上記の実践を踏まえたプライマーの作成 	2020年度の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライマーの作成を進めることができなかった
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山のまちのビジョンづくり ・エコデモプライマーの作成およびこれをテーマとした助成金の申請 	2020年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期のA②コンサル業務に時間を要したため、プライマーの作成を進めることができなかった。そのため、助成金申請も行っていない。

A②エコデモコンサル

2020年度の成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・前期は大岡山まちづくり協議会との実践と成果取りまとめを行う。 	2020年度の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山でエコデモの実践を進めた ・大岡山・千束地区まちづくり協議会事業委託 ・大岡山でのアンケート調査の実施 ・トヨタ財団助成金申請
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡山・千束地域のまちづくり憲章作成に向けた調査、成果の取りまとめ。 ・上記をテーマとした助成金の申請 	2020年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコデモ実践としてのアンケートの設計・配布・回収・入力・分析（途中）を実施した。 ・ TOTO、トヨタ財団への助成金申請を行った（不採択）。 ・ アンケート設計に時間をかけたこと（質問項目の検討、自治会との調整等）およびcovid19により配布が2か月遅れたことにより、成果とりまとめには至らなかった。 ・ アンケート入力において協議会メンバー9名の協力が得られ、個別調査票（1人20～50部）を入力することで地域住民の意見を直接目にして把握する機会を持てた。

事業内容の振り返りでは、次のとおりに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(5) 2020年度の事業の振り返り CSV事業

ビジョンのための戦略

SDGs、ESG投資の潮流を捉えた企業活動（CSV）の価値をつくる

今年度の実施状況

企業研修を実施できた

B①CSV試験プロジェクト

2020年度の 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 企業とのCSV試験プロジェクトの検討と実施 	2020年度の 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 企業とのCSV試験プロジェクトを実施できた（1件）
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> エコデモ財団応援人等の協力を得て、CSV試験プロジェクトの検討・実施 	今年度の 成果	<p><企業研修の実施概要></p> <ul style="list-style-type: none"> 研修テーマ「事業と人生のバリューチェーンの風景を豊かにするー地球環境と社会環境を見据えた新しい働き方」 内容：個人の能力開発；自伝的風景、ティール新規事業の頭出し；CSR、コレクティブ・インパクト、エコデモシート 期間：2020年8-10月（月2回の全6回実施） 方法：Zoom会議システム 収支概算：1,000千円 <p>※収入1,250千円（125千円/回*6回、報告書等500千円）、支出250千円（アルバイト料180千円、印刷製本経費50千円、通信費他20千円）</p> <p><振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> 研修プログラムのプロトタイプができた 経営者からの評価は高かった。社員のアンケートでも評価は高かった。 今後、横展開・縦展開を検討する必要がある ビジネスパートナー及びエコデモ財団の内部チームが必要

事業内容の振り返りでは、次のとおりに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと

(5) 2020年度の事業の振り返り 認証事業

ビジョンのための戦略

市民活動にあるエコデモの価値を見出し、エコデモの価値を認めてもらう

今年度の実施状況

エコデモ認証事業は、1グループも相互認証できなかった

c①エコデモ認証プロジェクト

2020年度の 成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10グループとの相互認証 	2020年度の 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1グループも相互認証できなかった
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動グループ、小中学校（行政、企業等）を対象として相互認証 ・ 水辺の楽校グループ、まちづくり活動グループ、大岡山の小中学校を主な対象とする 	2020年度の 成果	<p>◎エコデモの相互認証システムは、過去3事業年度に渡り、構築できなかった。</p> <p><原因・反省点></p> <p>【事業内容面】 相互認証の了解後、相手団体への具体的な依頼/財団の実施事項やステップを提示できないことの不安から先方へ打診できなかった</p> <p><来年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコデモ相互認証プロジェクトは、中止する。 ・ 市民活動とは個別グループでの交流を行う。

(5) 2020年度の事業の振り返り エコデモセミナー事業

ビジョンのための戦略

エコデモの国際的な潮流を捉え、国内における学術的位置づけを多分野との共同で行う

今年度の実施状況

- ・セミナー第5期を実施した。
- ・コロナの影響でエコデモ特別セミナー、エコデモ連続シンポジウムを実施した。

D①エコデモセミナー

2020年度の 成果目標	・エコデモセミナーの継続 (5期13名、6期10-15名で実施)	2020年度の 活動実績	・5期は実施済み ・6期は実施できなかった
実施内容	・エコデモセミナー5期【2019.06-11】 ・エコデモセミナー6期【2020.03-08(予定)】	2020年度の 成果	・5期を実施した(2019年5月-12月/11名参加、9名修了) ・コロナの影響で6期を実施できなかった。 ・「日本のエコデモを探そう/探ろう」を実施した(3月) ・特別セミナーを実施した(4月-6月。参加者60名)

D②エコデモ出版事業

2020年度の 成果目標	・エコデモ関連書籍の出版	2020年度の 活動実績	出版できなかった
実施内容	・エコデモ関連書籍の出版	2020年度の 成果	・助成金を申請しなかった ・土木学会誌の論文を掲載した(4月) <来年度に向けて> ・シンポジウムのまとめを出版する

D③エコデモシンポ

2020年度の 成果目標	・エコデモフォーラムの実施	2020年度の 活動実績	コロナを受けて、エコデモ連続シンポジウムに変更し、実施した
実施内容	①地方展開(前橋、川越、弘前、熊本など) ②大学・企業展開 ③社工会等での展開 →①-③それぞれの展開を検討	2020年度の 成果	・コロナの影響でフォーラムを実施できなかった ・エコデモ連続シンポジウムを実施した(8-10月に全6回実施。ゲストスピーカー10名、のべ参加者651人、実参加者数299人) ・エコデモ応援人に、期間中に10回以上の開催お知らせと報告を行った。

事業内容の振り返りでは、次のとおりに表記

青：計画通り出来たこと

赤：計画したができなかったこと

緑：派生的にできたこと 12

(5) 各活動の振り返り：講演会・イベント、原稿・論文、助成金

講演会・イベント

エコデモ連続シンポジウム「パンデミックの先にある新しい都市の形を考える」

第1回「自然と社会の連動する都市が、パンデミックに耐える」2020年8月9日（日）9:30~11:00

- 内容：エコデモ財団 土肥真人によるトーク+質疑応答
- 参加者：130名

第2回「都市のフレームワークを表す形：新しいデモクラシーの力」2020年8月23日（日）9:30~11:30 @Zoom

- ゲストスピーカー：矢口哲也さん（早稲田大学）、藤村龍至さん（建築家 / 東京藝術大学准教授 / RFA主宰）
- 参加者：130名

第3回「まちを世話する人、人に寄り添うまち」2020年9月6日（日）9:30~11:30 @Zoom

- ゲストスピーカー：松本真紀子さん（グリーンサポートせたがや）、杉田早苗さん（東京工業大学）
- 参加者：80名

第4回「農がすべてを結び直す そして、都市が変わる」2020年9月20日（日）9:30~11:30 @Zoom

- ゲストスピーカー：福永順彦さん（場所づくり研究所プレイス代表）、渡邊泰治さん（新潟県魚沼市地域おこしアドバイザー）
- 参加者：80名

第5回「「言葉と水」に、耳を澄ます」2020年10月4日（日）9:30~11:30 @Zoom

- ゲストスピーカー：若松英輔さん（随筆家・批評家、東京工業大学）、山下三平さん（九州産業大学）
- 参加者：100名

第6回「『日常にある未来』を探す：働き、学び、生きる新しい形」2020年10月25日（日）9:30~11:30 @Zoom

- ゲストスピーカー：小泉秀樹さん（東京大学）、佐々木葉さん（早稲田大学）
- 参加者：120名

(5) 各活動の振り返り：講演会・イベント、原稿・論文、助成金

講演会・イベント

基調講演・特別講義

- 日本造園学会関東支部「グリーンインフラはいかなる価値を創出できるか？～市民社会に受け容れられる価値の創造を目指して～」(2019.11)
- 東京大学大月研究室「エコロジカル・デモクラシー特別講義」(2020.1)
- 玉川田園調布防犯パトロール隊「エコ・デモの視点で多摩川の防災問題を考えよう『多摩川の自然と治水を学ぶ！』」(2020.2)
- 所沢市役所街づくり計画部都市計画課「椿峰のみどりから考える まちとひとのみらい」(2020.2)
- 一般財団法人日本緑化センター「第42回都市環境緑化推進研究会～街路樹の効用と倒伏対策」(2019.10)
- 市民活動広域ネットワーク アクティブ・アクティブ「アクティブ・アクティブ連携セミナー2019 SDGs とエリアマネジメント、エコロジカル・デモクラシーというフレームワーク」(2019.10)

(5) 各活動の振り返り：講演会・イベント、原稿・論文、助成金

原稿・論文

- 「エコロジカル・デモクラシー未来図にみる都市のみどりの新しい役割 (特集 街路樹の効用と倒伏対策)」土肥真人、日本緑化センター発行『グリーン・エージ』vol. 46(10), pp4-7, 2019年10月
- 「水にデザインされる都市—自然と社会の水辺にあるエコロジカル・デモクラシー—」土肥真人、土木学会『土木学会誌』Vol.105(4)、2020年4月

助成金

- 「水の循環と子どもの遊びからみる自然と社会とのつながりとその価値について—多摩川流域の自然環境保全に向けた流域連携の可能性に向けて」2019年4月～2021年3月、2年間、2019年度東急財団研究助成（2019年度からの継続）